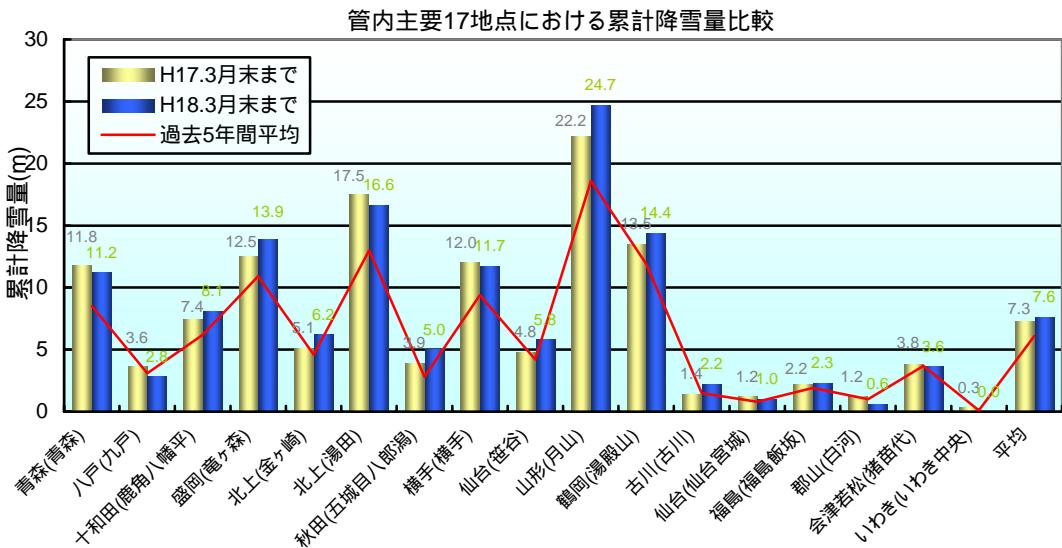


(参考資料)

管内の主要17地点における降雪の状況



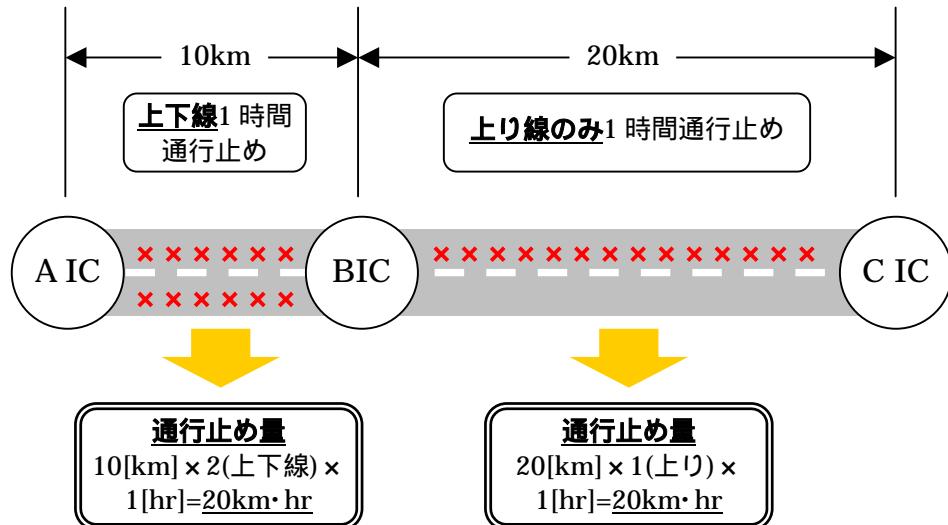
通行止め量と管内の閉鎖状況

高速道路の上下線のうちどちらか一方(片側)の延長 1km の区間を 1 時間閉鎖した際の通行止め量を $1\text{km} \cdot \text{hr}$ ($1\text{km} \times 1\text{hr}$) と定義しています。この場合、今冬季の約 93 千 km の通行止め量を管内全線(延長約 1,280km)の閉鎖状況に例えると、

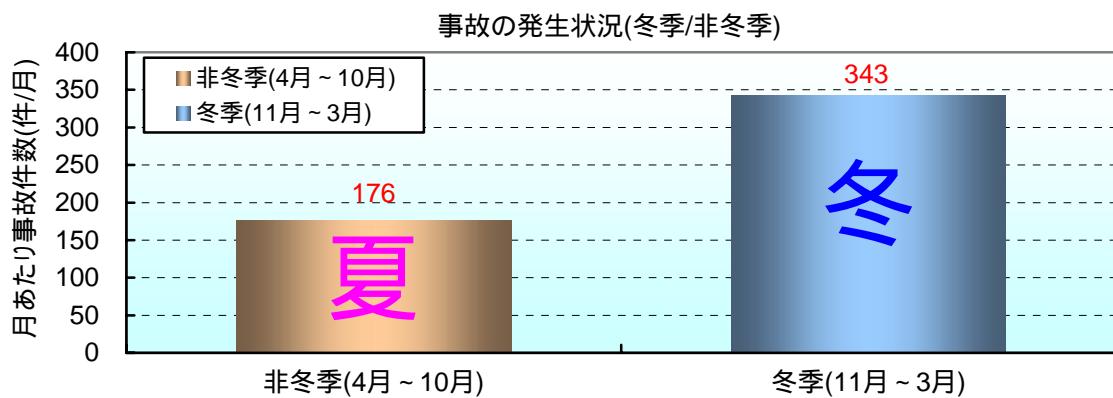
$$93\text{ 千}[\text{km} \cdot \text{hr}] \div (1,280[\text{km}] \times 2(\text{上下線})) = 36[\text{hr}]$$

となり、およそ一日半にわたり、管内の全線を閉鎖した状況に相当することになります。

【通行止め量の考え方】



平成17年度の事故発生状況（NEXCO東日本調べ）



季節 (4～10月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	非冬季 合計	月あたり 件数
H17年度	147	152	154	174	278	173	155	1,233	176

季節 (11～翌3月)	11月	12月	1月	2月	3月	冬季 合計	月あたり 件数
H17年度	182	618	278	350	287	1,715	343

終冬季における事故の発生状況（雪氷路面におけるもの）

	事故件数 (件)	うち冬用タイヤ未装着 車両が関係するもの(件)	割合(%)
3月21日(火)	8	3	33%
3月30日(木)	18	4	22%
3月31日(金)	13	4	31%
合計	39	11	28%

なお、3月第4,5週における冬用タイヤ未装着の率は、管内平均で2割以下ですが、冬用タイヤ非装着車両の事故の占める割合は3割近くと高くなっています。

雪道情報提供の充実

ハイウェイ情報ターミナル

下記の休憩施設において、運用しています。

東北道	津軽 S A (上下)	花輪 S A (上下)	岩手山 S A (上下)
	滝沢 P A (下)	紫波 S A (上下)	前沢 S A (上下)
	長者原 S A (上下)	鶴巣 P A (上下)	菅生 P A (上下)
	国見 S A (上下)	吾妻 P A (上下)	安達太良 S A (上下)
	安積 P A (下)		
磐越道	磐梯山 S A (上下)	五百川 P A (上下)	阿武隈高原 S A (下)
八戸道	折爪 S A (上下)	秋田道	西仙北 S A (上下)
山形道	寒河江 S A	常磐道	湯ノ岳 P A (下)



(情報ターミナル全景)



(操作の様子)



(情報提供画面(例))